

第 1 学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「うまれかわった ぬののパレード」(造形遊び)

2 題材について

体全体を使って、布を思いのままに並べて遊ぶ題材である。ここで使用する布は、主に児童が使用していた服を切った物である。これらの布は児童にとって身近で愛着のある物である。そういった布を並べることによって、布のもつよさ（色やもよう、形の変えやすさ、質感の違い）に気付き、そのよさを生かした並べ方を試みるだろう。また、布だけを並べるという活動にしぼり、他の材料を提示しないこと、布の形を三角形にすることで、布のよさや形を生かした工夫や試行錯誤をすると考えられる。

3 本題材の目標

- 布を並べるという活動を楽しんでいる。(関心・意欲・態度)
- 組み合わせや並べ方を工夫している。(発想や構想の能力)
- 自分や友だちの並べ方の面白さに気付いている。(鑑賞の能力)

4 本題材の計画

配時	1 (1/2時 ○. ○組)	1 (2/2時 ○. ○組)
ねらい	自分達の着ていた服が材料であることを知り、工夫しながら並べることができる。	布を並べる活動を楽しみながら、布のよさを生かした並べ方を工夫することができる。
活動	であい・表現	表現
学習活動の内容	<p>1 自分達の服だった布が材料であることを知り、工夫しながら並べる。</p> <p>(1)自分達が着ていた服が材料であることを知り、並べていく活動を理解する。</p> <p>(2)自分の並べ方をいろいろな方法を試しながら見つけていく。</p> <p>「どことなくふうができるかな。」</p>	<p>2 材料のよさを生かしさまざまな並べ方を思いついたり、並べかえたりして、自分の思いを広げる。</p> <p>(1)前時に友だちや自分が発見した並べる工夫を想起する。</p> <p>(2)布のよさをいかしながら並べ方を工夫し、更に広げて並べていく。</p> <p>「もっとひろげていこう。」</p>
	<p style="text-align: center;">全体を通して鑑賞・交流をしながら活動する。</p>	
	共通事項 ア イ	共通事項 ア イ

第1学年〇組 図画工作科学習指導案(であい・表現の活動)

指導者 〇〇 〇〇 1年 〇組教室

5 本時の目標

〇並べ方を工夫しながら楽しく活動することができる。(発想や構想の能力)

6 本時学習のポイント (1/2)

子どもたちが様々な並べ方を発見する際に「どうならべようかな。」と考える姿をめざします。そのために友だち同士の交流がしやすく、お互いの活動が見える場づくりをします。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 材料とであう。 2 本時のめあてをつかむ。	☆ 子どもの意欲を高めるために、自分達の服だった物が材料になっていることを知らせる。 めあて みんなのぬのをいろいろならべよう。	自分達の服だった布をならべるんだな。いろんな色やもようがあるぞ。
3 布を床に並べて遊ぶ。 	☆ 活動の方向付けを行うために「並べる」とはどんな活動なのかを子どもたちに発表させ、確認する。 ☆ 自分なりの並べ方を考えるために、最初に並べる布の数を10枚に制限する。 ☆ 友だち同士の交流がしやすいように、お互いの活動が見合える場づくりをする。 ☆ こうしたいということがあったら理由を聞いて必要な支援をする。	△ 並べるという活動でどんな工夫ができるか発表する。 ○ 布を自分の思いのままに並べる。 ◎ 「材料が足りない」や「もっとこうしたい」という思いを出す。 もっと広く並べたいから、布をもっともらいたいな。 さっきとは、違うならべ方をしたいな。
4 振り返る。	☆ 多様な並べ方を共有するために発見したならべ方を数人に発表させる。 ☆ 図工ノートを準備する。	△ 自分が発見した並べ方の工夫を発表する。 ◎ きょうのめあてにそって振り返る。 ◎ 自分の並べ方のよさに気付く。
5 かたづける。	☆ 次の活動へ意欲を継続させるために、布を5枚選び次時に使うことを伝える。 ☆ 選んだ布は次時に使うことを伝える。	こんなくふうをしてならべたよ。友だちの工夫おもしろかったな。次にやってみよう。 ◎ 並べた布の中からお気に入りを5枚選ぶ。

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習のかまえ

第1学年〇組 図画工作科学習指導案(表現の活動)

指導者 〇〇 〇〇 体育館

5 本時の目標 (2/2)

- 布のよさを取り入れながら並べることができる。(発想や構想の能力)

6 本時学習のポイント

本時では布のよさ(色・もよう・質感)を取り入れながら並べ方を工夫する姿をめざします。そのために、交流を通して色やもよもの面白さや、がさがさ・つるつる・ふわふわなどの質感の違いに気付かせます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 本時のめあてを確かめる。	☆ 前時と材料は同じことを伝え、本時が前時と違うところを考えさせる。	教室より体育館の方が広いから、もっとひろくならべられるな。
めあて 布をよくみてどンドンならべよう。		
2 布を床に並べて遊ぶ。	☆ 布のよさに気付くために前時で選んだ布を見てそのわけを発表させる。 ☆ 困ったことや、こうしたいと思うことがあったら教師に言いくることを伝える。 ☆ 友だち同士の交流がしやすいように、お互いの活動が見合える場作りをする。 ☆ こうしたいということがあったら理由を聞いて必要な支援をする。	△ 布を選んだわけを発表する。 ○ 布のよさを生かしながらかつていく。 ◎ 「材料が足りない」や「もっとこうしたい」という思いを出す。 最初の布だけじゃ足りないからもっともらいたいな。 ○〇さんの並べ方おもしろかったからやってみよう。 かわいい模様の布を集めて並べたいな。 ふわふわの布を集めたいな。 赤と青の布を交互にならべよう。
3 振り返る。	☆ 自分や友だちの並べ方のよさに気付かせるために並べ方自慢タイムをとる。	△ どんな風にならべたか聞いたり、話したりする。 ◎ 自分の並べ方のよさに気付く。 ◎ きょうのめあてにそって振り返る。
4 かたづけ。	☆ 図工ノートを準備する。	布の同じような模様を集めてならべたよ。お友だちとつなげるとこんなに大きくなったよ。

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習のかまえ